

患者**1000**人アンケート分析協力=病院の通信簿
調査期間 2010年10月20日～11月4日
調査方法 病院の通信簿の会員を対象に
インターネット上で実施(匿名)
回答者数 1,283人(男549人、女734人)

① 週刊誌

438人

② 男性・女性誌

273人

③ 新聞

254人

④ タウン誌

176人

⑤ 趣味関連の情報誌や書籍 124人

⑥ 経済誌 72人

⑦ その医療機関の広報誌 68人

⑧ 漫画本(漫画雑誌含む) 62人

⑨ 絵本(子どもに読ませる含む) 44人

⑩ 書籍(文庫本含む) 43人

⑪ その他 27人

⑫ あまり読まない

310人

あなたは医療機関に置かれている本類で、どのようなものを読むことが多いですか？

(複数回答あり)

気軽に読める雑誌に人気が集
意外にも漫画は苦戦する結果に

ほとんどの医療機関では、待合に本類を用意しているだろう。あくまで付帯サービスの一環だが、ニーズに合ったものを充実させれば、待ち時間に対する患者の不満・ストレス軽減が期待できる。今回は、患者が待合でどのようなジャンルの本類を好んで、実際手にとって読んでいるのかを聞いた。

調査の結果、「読んでいる」という回答が最も多かったのは週刊誌で、次に男性・女性誌であった。どちらも気軽に読め、旬の話題や情報が盛り込まれているものだ。3位に入ったのは根強い人気のある新聞である。ただし毎日発行されるので、数紙そろえて充実させるには費用がかかってしまうことがネックになる。その後、タウン誌や趣味関連誌など、写真が多くて読みやすい雑誌類が上位にランクインしている。

意外だったのは漫画雑誌や漫画単行本が8位に終わったこと。読みやすさではそのほかの雑誌と同

等だが、毎号継続して読んでいなければストーリーが理解しにくいし、最初から読み始めても待ち時間の間だけでは読破できない。中途半端になることが、患者を漫画から遠ざける理由か。同様に小説などの書籍類も低位置にとどまっている。本自体を「あまり読まない」を選んだ人も300人以上いた。

また、待合に置いてほしい本類についても聞いている。少数ではあるが、「症状による診療科をアドバイスする雑誌」との回答も見られた。ユニークなものでは、「インターネットをしたいのでiPadを置いてほしい」という意見もあった。コミュニケーションの糸口にもなる話題のツールだけに、一考してみてもどうだろうか。

◆病院の通信簿とは
会員数30万人、1日平均アクセス数2万件を誇るマンモスサイト。匿名の患者アンケートから待ち時間、医師の印象、看護師の態度、待合室の快適度など、医療機関を15項目ごとに5段階評価し、「リーダーチャート」にまとめてネット上に掲載。日本人になじみの深い通信簿形式で注目を集める。
http://www.tushinbo.com/